

会員の種類

正会員 年会費 15,000円/2,980人

賛助会員 年会費 1口 10,000円
(5口)以上 /142社

特別会員

名誉会員



各支部の連絡先

○北海道支部
〒060-0006 札幌市中央区北6条西18丁目1-9 株式会社 北海道共立 内
TEL:011-622-8551/FAX:011-622-8551

○東北支部
〒024-0084 北上市さくら通り 2-1-1 北上市文化交流センター さくらホール 内
TEL:0197-61-3300/FAX:0197-61-3301

○東京支部
〒135-0043 江東区塩浜 2-2-1 アサガミ深川物流センター B-4F PRG株式会社 内
TEL:03-3699-9960/FAX:03-3699-9960

○中部支部
〒452-0808 名古屋市西区宝地町 185 株式会社 ビットレー 内
TEL:052-504-5875/FAX:052-504-5875

○関西支部
〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-4-14 ショーレイビル 406
関西舞台テレビテクノ&アート協同組合 内
TEL:06-6371-1239/FAX:050-1456-3773

○中国支部
〒730-0825 広島市中区光南 2-21-4 (株) ステージユニオン広島 内
TEL:082-247-1116/FAX:082-247-7962

○四国支部
〒760-0030 高松市玉藻町 9-10 アルファあなぶきホール 内
TEL:087-823-3131/FAX:087-823-3124

○九州支部
〒802-0841 北九州市小倉南区北方 2-15-21 株式会社 ウイング 内
TEL:093-922-2792/FAX:093-921-7507

○沖縄支部
〒901-2221 宜野湾市伊佐 4-10-9 有限会社 沖縄舞台 内
TEL:098-898-3108/FAX:098-890-1338

公益社団法人 日本照明家協会

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎3階

TEL: 03-5323-0201 FAX:03-5323-0205

<http://www.jaled.or.jp/>

E-mail: 100jimukyoku@jaled.or.jp

協会誌

協会誌

「日本照明家協会雑誌」は会員を結ぶメディアだが、照明に関する研究発表や新機器の紹介、在外研修者による海外レポートなど照明界の“今”を満載する業界唯一の月刊誌である。

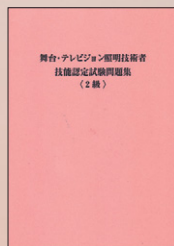


日本照明家協会雑誌
A4版 80頁
定価 1,250円(税込)

図書刊行物

図書刊行物

『舞台・テレビジョン照明』シリーズは講座テキストとして編集刊行されたものだが類書がなく、再版・改版を重ねている。専門学校や公共ホールの教材にも利用されている。安全作業・業務管理、機器保守等、照明業務の現場に即した図書・DVD、またテンプレートなどの作成、頒布も行っている。『日本舞台照明史』『日本舞台テレビ照明近代史』など、協会ならではの研究書、記録集の編集・刊行を行っている。



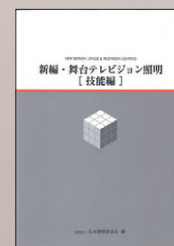
舞台・テレビジョン照明技術者
技能認定試験問題集 (2級)
B5版 88頁
定価 1,575円(税込)



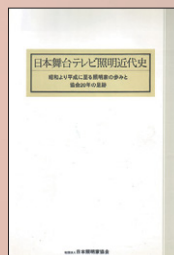
舞台・テレビジョン照明
〈基礎編〉CD-ROM付き
B5版 212頁
定価 3,150円(税込)



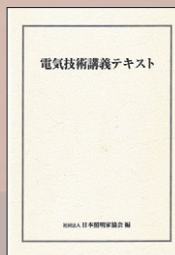
舞台・テレビジョン照明
〈知識編〉
B5版 355頁
定価 4,725円(税込)



舞台・テレビジョン照明
〈技能編〉
B5版 375頁
定価 4,725円(税込)



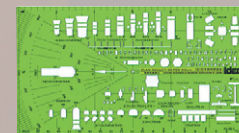
日本舞台テレビ近代史
A4版 336頁
定価 3,900円(税込)



電気技術講義テキスト
B5版 107頁
定価 2,100円(税込)



照明家のための
安全な網元操作の常識
ネットビデオ制作プロジェクト
定価 3,950円(税込)



テンプレート
1/50, 1/100 2枚組
定価 5,000円(税込)



日本照明家協会へのお誘い



公益社団法人
日本照明家協会

Japan Association of Lighting Engineers & Designers

業績の表彰

「日本照明家協会賞」は1981年にスタート。照明家を対象とした世界でも珍しい顕彰制度である。舞台部門・テレビ部門、それぞれに大賞(文部科学大臣賞併贈)以下、優秀賞、新人賞、特別賞(奨励賞、努力賞、技術賞など)が設けられている。審査には文化界有識者が加わって当たり、対象は作品・番組だけでなく、技術開発、機器改良、施設照明設計などにも目が配られている。注目度は高く、年々その社会的権威を高めている。



技能認定

プロとしての照明家の技能認定制度は1981年に発足。以来、協会独自の規程によって実施され今日にいたっている。初心者対象の2級とチーフクラス対象の1級とがあり、これまでの資格保有者は延べ10,000人を超える。技能認定制度を通じて、舞台・テレビジョン照明家の職能の認知、確立と照明技術の向上、普遍化に果たした役割は大きい。ホール職員採用時の条件となるなど、社会的評価も高まっている。



研修会・講習会

次世代照明家の育成と技術の向上をはかるセミナーは1973年にスタートし、その後、技能認定制度と連動して、「舞台・テレビジョン照明のための公開講座—地域講座、中央講座、新人講座」の名で定着し、毎年、全国各都市で継続開催されている。並行して、職域の進展やハイテク機器開発などに即応した研修会を随時実施。理論よりも現場での研修を重視しているが、知識・技術にとどまらず、照明家としての創造性



や感性の涵養が求められる。公開講座の継続開催、公開のイベント、セミナー、ワークショップ、シンポジウムを積極的に企画、開催している。近年は、各支部によるホール職員やアマチュア・学生対象の照明講習も活発化して、地域文化振興にも寄与している。

業績の表彰



●日本照明家協会と共に

会長 沢田祐二

日本照明家協会は、1973年12月14日に文化庁より社団法人に認可され全国的単一組織として40年の時を迎えようとしています。2010年12月24日には内閣府より公益社団法人として認定され新しい船出を致しました。

照明はこの20数年間、先端技術の開発に伴ってめざましい発展を遂げると共に大なる利便性をもたらしました。しかし3・11以降大きな変革を求められています。私達照明家は「ものづくり手」として、人々の心に届く、優しい暖かい「光り」を見つめ直す時が来ました。照明を志す皆さんと共にこのことを考えていきたいと思えます。

<入会の手順>

- ・協会ホームページより「入会申込書」をダウンロードして下さい。
- ・必要事項をご記入下さい。
- ・紹介者(正会員)の署名と捺印を受けたのち、ご提出下さい。
- ※写真(免許証サイズ)を2枚(1枚は入会申込書に貼付する)と一緒に提出下さい。
- ※会費の口座引落をご希望の場合は預金口座振替依頼書の提出が必要になります。
- ・本部事務局が受理 → 会長承認
- ・入会通知、会員証、協会誌が届きます。
- ※ただし、その後の理事会承認が得られなかった場合は、入会を取り消す場合がありますので、予めご了承下さい。

技能認定

研修会・講習会

研究・調査

類書のない『日本舞台照明史』刊行、遠山静雄『舞台照明学』など会員による照明研究の成果が世に問われ、評価を得ている。また照明テキストの編集刊行、「全国テレビ照明技術者会議」「全国舞台照明技術者会議」の積み重ねなどが全国の現場に生かされ地域差解消にも役立っている。

諸団体との連絡・連携

舞台・テレビ照明の仕事は単独では成立しない。演者や演出家、装置家、衣裳デザイナー、カメラマンたちとの協同作業のうちにはそれは完成する。施設の条件にも制約され、最先端の科学技術の進展と共に歩み、ナマの“時間芸術”の属性を持つ。したがって、常に関連諸団体・機関との緊密なコミュニケーションが不可欠である。

交流・互助活動

協会は、わが国の舞台・テレビ照明界唯一の職能団体であり、会員相互の交流は、地域と分野を超えて、協会発足と供にきわめてさかんになった。発足当時から検討されていた「就業事故見舞金」制度成立は1987年、「団体傷害保険」加入は1995年から。

公益社団法人 日本照明家協会 組織図



*N・G・C:
(NEXT GENERATION COMMITTEE)
支部を中心として活動を行なっている次世代を担う若い会員たちの集まり